

平成 30 年度事業報告

日本の高齢社会が急速に進展している状況下で、若い世代の労働人口は減少傾向にあります。この様な社会の中で地域経済の活力を維持するためには、これまで培った豊かな経験、知識、技能を活かし活躍出来るシルバー事業は地域社会の重要な役割を担っております。

こうした中、年度末会員数 558 人(対前年度比 0.4%増)、契約件数 4,961 件(対前年度比 2.0%減)、契約金額 241,704,454 円(対前年度比 10.0%減)と会員は数増えましたが、契約件数・契約金額について前年度より下回る結果となりました。この原因は、相当部分社会構造の変化に伴うものと推定されます。

この様な状況の中で、10 月には消費税の引き上げが予定されており、ますます従来型の事業が減少されると思われまます。

こうした中、今年度から本格的に国・市の補助金を取り入れて自主事業を行っております。実績としてニンニク事業では収穫量 1,362 kg、黒ニンニクに熟成すると 638 kg の製品が作れ 1,544,580 円の収入、アスパラ事業では 4 月に 840 本の苗を植え付け 2 月末から収穫し収穫量 255 kg で 297,802 円の収入となりました。これ等の収入はいずれも売上の一部であり、全体収入は年度にまたがり、事業年度の完結を待たなければ収支は確定致しませんが、見通しとしては黒ニンニク事業の収支はほぼ均衡、アスパラ事業は黒字となる見込みであり、次の事業年度では両事業とも黒字となり、本シルバー人材センターの経営基盤の強化に繋がると判断されます。

今後は従来型の事業と自主事業を並進させ事業の発展と充実を図って参る事とします。

以下、事業実績等についてその概要を報告致します。

I シルバー人材センター事業

1 受託調整

市内の高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高年齢者にふさわしい地域に密着した仕事を、一般家庭、民間事業所、官公庁等から有償で受託し、センター会員への提供に努めました。

2 職業紹介

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務にかかる仕事を希望する市内の高年齢者を対象に、職業紹介による就業機会の提供に努めましたが、求人・求職者の該当はありませんでした。

3 一般労働者派遣

香川県シルバー人材センター連合会の実施事務所として、センター会員を対象に、一般労働者派遣による就業機会の提供に努めました。

4 普及啓発

シルバー事業への信頼と理解が得られるように、チラシ等の配布及び市内の公共施設の清掃・除草・剪定等のボランティア活動を行いました。また、シルバー説明会を毎月開催し、普及啓発に努めました。

5 安全・適正就業の推進

安全就業はシルバー事業において重要であり、会員の意識の向上と事故防止のために、安全・適正就業委員会を中心に救急法講習会・防災食講習会、就業現場の安全パトロールを実施し安全意識の啓発に努めました。

6 就業機会の開拓・拡大

会員が地域内で自らの能力や希望に応じた就業機会を享受できるよう、会員・役職員が共に力を合わせて就業機会の開拓・拡大に努めました。

II 自主事業

オリーブの維持管理業務及びニンニク・アスパラの植付・管理・収穫・加工・販売作業を会員に提供し就業の拡大・確保、地域の活性化に努めました。

III 法人管理事業

1 会員の増強

シルバー事業を拡大していくためには、会員の確保が重要でありま
す。シルバー説明会を毎月開催し、センターの基本理念を十分に理解
し、賛同する就業意識の高い会員の確保・増強に努めました。

2 諸会議の開催

当センターの維持運営及び事業運営の執行に関して必要な会議を、
6月に定時総会を開催、理事会(書面表決を含め)16回開催しました。